

自転車で巡る神河の清流

「越知川名水街道」記者が体験



山裾からの湧き水を無料でくめる
「南山名水」＝神河町大畑

神河町北東部を流れる越知川沿いを自転車で走る「越知川名水街道自転車下り」の参加者を、バス・タクシー会社「ウイング神姫」栗賀営業所(同町中村)が募集している。約20キロの下り坂コースで、川沿いの景勝地や名水スポットなどを巡ることができる。運動不足の記者が春の陽光に誘われ、同町観光協会に案内してもらい体験してきた。(喜田美咲)



景色を楽しみながら川沿いをひたすら下る
＝神河町岩屋

奇岩、湧き水…見所たっぷり

自転車下りは、越知川沿いの地域振興や観光PRを目指し、旧神崎町観光協会などが2000年に始めた。現在はウイング神姫が運営を担い、毎年3～11月に参加を受け付けている。同営業所から平日は午前11時36分、土日祝日は同10時53分発の新田ふるさと村行きバスで終点へ行き、用意された自転車で(持参の場合はバスに持ち込み)寄り道しながら戻ってくる。道中には50以上のルート案内板が立ち、水遊びができる「川の駅」や名水を使った飲食店に立ち寄れる。運が良ければオオサンショウウオに出合える水辺や、水面に現れるハート形の岩、願いを込めると世間に秘密が漏れなくなると伝わる「重箱石」など、知る人ぞ知るスポットもある。

川の水面に現れた「♡」
形の岩＝神河町新田



願えば世間に秘密が漏れなくなると言われる「重箱石」＝神河町作畑

「川沿いには車では寄りづらい穴場がたくさん。自転車がびったり」と太鼓判を押す。参加費は自転車レンタルやバス代込みで大人1800円、小学生以下1300円。ゴールまでの所要時間は平均2時間ほど。記者らはしっかりと寄り道をして4時間で帰り着いた。神河町観光協会の細道智子さんは「川沿いには車では寄りづらい穴場がたくさん。自転車がびったり」と太鼓判を押す。参加費は自転車レンタルやバス代込みで大人1800円、小学生以下1300円。

「重箱石」など、知る人ぞ知るスポットもある。ほぼ緩やかな下り道でペダルをこがなくても前に進むため、運動が苦手な人やお年寄りにも安心。日差しがあると汗ばむが、川沿いを吹く風が心地よい。コース中盤には、山からの湧き水を無料でくめる場所も。今回は取材なので手を洗っただけにとどめたが、本当は清らかな水を頭から浴びたい気分だった。「次は着替えを持ってこよう」。そう心に決めた。

終盤のグリーンエコリッヂ形(神河町根宇野)周辺の沿道では5月末まで、約800匹のこいのぼりが泳いでいる。